

第Ⅳ部門 地方都市農業地域における都市環境整備に関する意識分析

立命館大学 正会員 春名 攻
立命館大学大学院 学生員 松山 洪文
立命館大学 学生員 ○藤本 尚也

1. はじめに

近年、大都市縁辺の地方都市における農業地域においては、地域の大半が市街化調整区域であるために都市社会環境としての基盤整備に格差が生じたり、無秩序な都市施設開発などの様々な問題を抱えている。また都市の人口増加に伴う土地開発の波が押し寄せており、都市の健全な発展に貢献する土地の有効活用・高度利用や農地の保全等が今後の都市整備課題として挙げられている。本研究では、このような一般的な課題・問題にたいし、滋賀県草津市山田地区を具体的研究対象として取り上げ、この地区の特徴である田園環境を保全しつつ、農業振興と生活環境の改善、さらには、都市的環境整備を図っていく上で、都市的牽引力となる地域振興プロジェクトを導入することを構想し検討を加えることとした。すなわち、当該地区の特長を生かした生産性の高い農地利用の方策の1つとして、メロン栽培を中心とする大規模農業公園整備プロジェクトを取り上げたのである。本稿ではこのような観点からのこの地区の整備コンセプトの設計をめざして、まず、地元住民の将来の都市環境整備に対する意識分析に関して論じた。

2. 住民意識の検討とコンセプト設計

上述のような大規模農業公園整備を牽引力とする地域振興や都市整備プロジェクトは、地元住民の参加・協力が無ければ円滑に実施できないことは明らかである。本研究では、図-1に示すような地区整備コンセプトの検討プロセスに沿って住民意識の検討とコンセプト設計を行っていくこととした。

3. アンケート調査分析と結果

当該地区の都市的・地区環境整備を行う上で、地元住民意向や地域現況を計画に反映させることが重要であると考え、アンケート調査を通じた地区環境評価や将来に対する要望の調査・分析を行い、望ましい地区整備コンセプトを設計することとした。

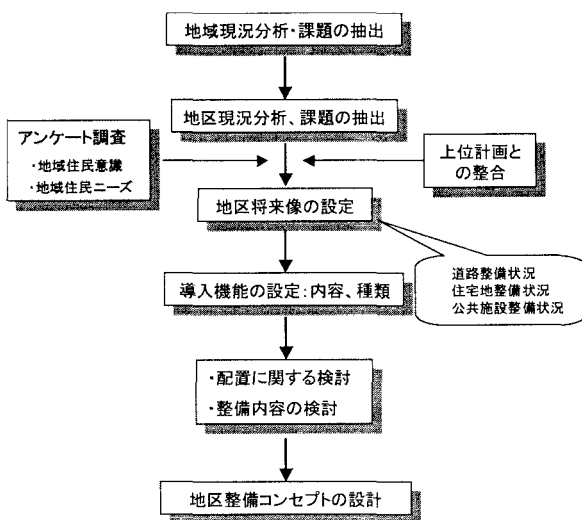


図-1 地域整備コンセプトの検討プロセス

(1) 調査地域の概要

本研究の研究対象地である、滋賀県草津市山田地区は草津市の西部に位置し、地区の西側は琵琶湖と接しており、草津川を中心とした4つの中小河川の通過によって、古くから県下有数の穀倉地帯が形成されてきた。そして現在でも農業地区がおおく、大半が市街化調整地域となっている。

(2) アンケート調査概要

本アンケートは滋賀県草津市山田地区の15町内会、約2400世帯に配布した。なお調査概要を表-1に示す。

表-1 アンケート調査概要

調査対象	滋賀県草津市山田地区全世帯
調査期間	平成13年1月10日より平成13年2月1日
調査方法	留置法
配布数	2408部
有効回収数	1304部

Mamoru HARUNA, Hirofumi MATUYAMA, Naoya FUJIMOTO

(3) アンケート調査結果の分析

本研究では図-2の分析フローに従ってアンケート調査結果の分析を行った。

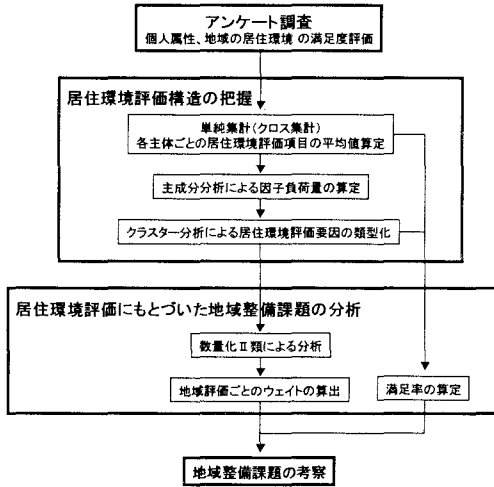


図-2 地域整備課題に関する分析フロー

①評価に見る地区環境の認知構造に関する分析

アンケート調査の地区環境に関して、26の質問項目について主成分分析を行い、ワード法によるクラスター分析を行った。図-3に示すように「住宅環境」「防災環境」「教育・消費生活環境」「文化環境」「福祉・労働環境」「医療・余暇環境」の7項目によって、周辺環境が形成されているものと判断した。

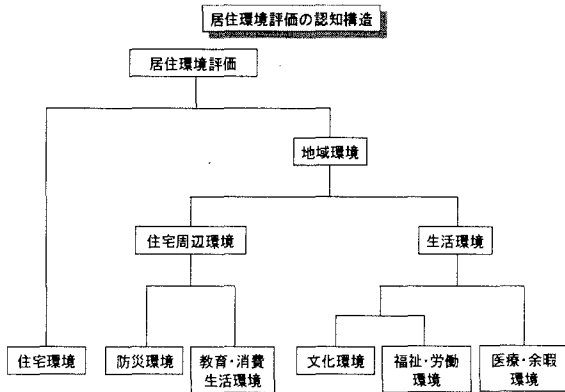


図-3 評価に見る地区環境の認知構造

②地区環境評価を通しての意識分析

地区環境に対する評価状況を分析した結果、いずれの項目においても低い評価となっている。特に「福祉・労働環境」「医療・余暇環境」の評価が「住宅環

境」「文化環境」に比べて低い結果となっているが、これは山田地区隣接地に図書館が整備されたことが強く反映したものと考えられる。

③地区整備課題に関する考察

数量化Ⅱ類による分析結果を表-2に示した。

表-2 数量化分析及び不満率

評価項目	カテゴリ	度数	カテゴリ値	範囲	偏相関係数	不満率
住宅環境	満足	209	-0.5096	0.8794	0.2962	39.2%
	普通	557	-0.1360			
	不満	493	0.3697			
防災環境	満足	1218	-0.0101	0.5812	0.0582	0.6%
	普通	34	0.2437			
	不満	7	0.5711			
教育・消費生活環境	満足	69	-0.2487	0.5853	0.1852	36.6%
	普通	729	-0.1893			
	不満	461	0.3365			
文化環境	満足	144	-0.2452	0.4700	0.1209	32.3%
	普通	708	-0.0793			
	不満	407	0.2248			
福祉・労働環境	満足	31	-0.3675	0.6234	0.2211	58.3%
	普通	494	-0.3571			
	不満	734	0.2558			
医療・余暇環境	満足	50	-0.5025	0.8051	0.2240	50.9%
	普通	568	-0.2972			
	不満	641	0.3026			

ここで問題となるのは、不満率と偏相関係数が高い評価項目であり、住民の立場としては今後整備することが望ましい項目として選定される。山田地区においては、「福祉・労働環境」「医療・余暇環境」が不満率、偏相関係数が高く整備課題として抽出された。これは地元住民が、現在の田園的な居住環境に対してはある程度満足しているものの、就業場所や余暇活動施設、医療施設などの都市環境整備に対する要望が強いということが伺える。また防災環境に対しての意識が低いことも伺える。今回、全体として都市環境整備が遅れているという農業地域の現状が、住民の評価においても表れた結果となった。また全体として地元住民の都市的環境整備への要求が強いという結果が得られた。

4. おわりに

本稿では、滋賀県草津市山田地区における将来的な地区整備コンセプトの明確化と設計に関して考察し、本格的検討の前段階として、アンケート調査による地元住民の居住環境評価の分析及び地区整備課題の抽出に關しての分析結果を示した。現在、分析結果と地区の現状と照らし合わせることにより、住民の意向を反映した都市環境整備計画のモデルの構築を進めている段階である。